

長崎市DX推進計画

【個別施策】



令和4年3月

長崎市

目次

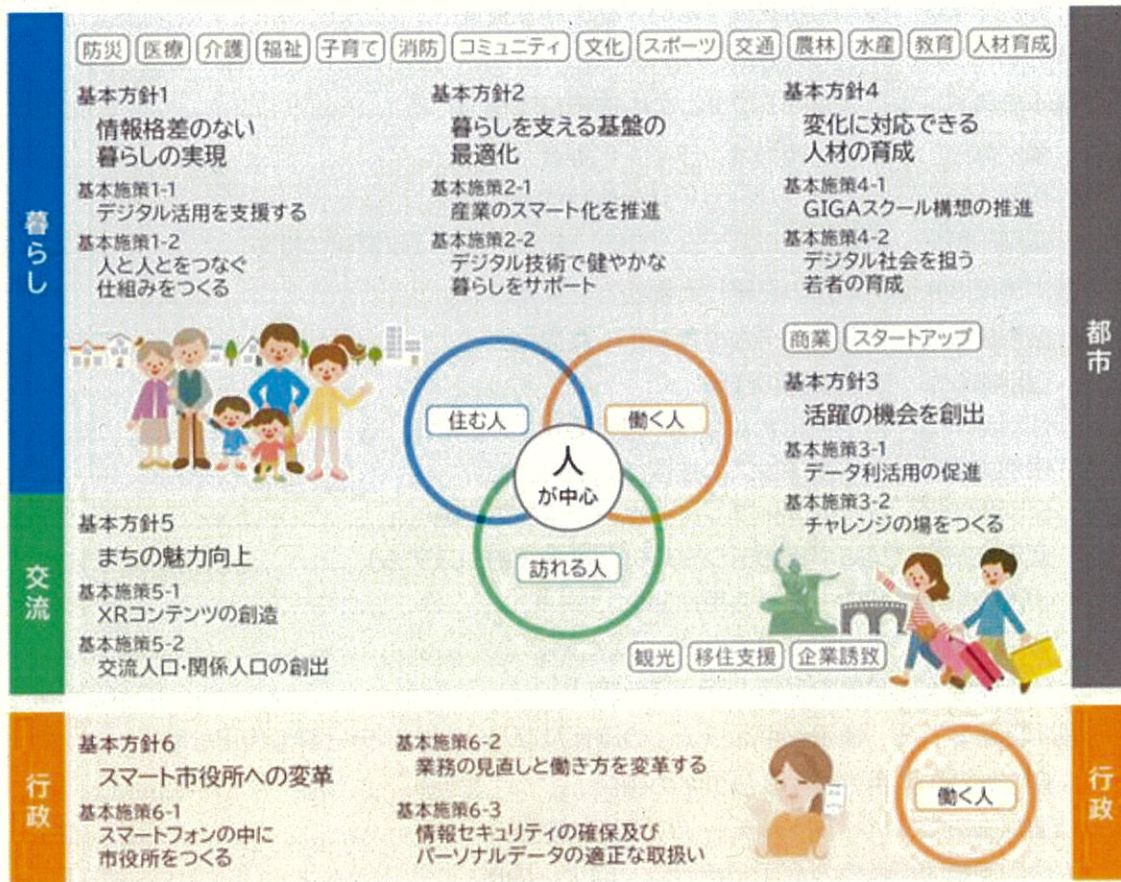
1. 施策体系	1
2. 重点取組み（令和4年度～令和6年度）	2
3. 個別施策	5
基本方針1 情報格差のない暮らしの実現	5
基本施策1-1 デジタル活用を支援する	5
個別施策① 使いたい・使えない人をサポート	5
基本施策1-2 人と人をつなぐ仕組みをつくる	6
個別施策① 地域の困りごとをデジタル技術で解決	6
個別施策② デジタル技術で社会参加をサポート	6
基本方針2 暮らしを支える基盤の最適化	7
基本施策2-1 産業のスマート化を推進	7
個別施策① 地場企業のDX推進・生産性の向上	7
個別施策② スマート農業・スマート水産業の推進	7
個別施策③ ICT等を活用した有害鳥獣対策	8
基本施策2-2 デジタル技術で健やかな暮らしをサポート	8
個別施策① 福祉ネットワークの構築	8
個別施策② 離島における遠隔診療	9
個別施策③ 母子保健サービスのデジタル化	9
基本方針3 活躍の機会を創出	10
基本施策3-1 データ利活用の促進	10
個別施策① 都市OS（データ連携基盤等）の活用	10
個別施策② オープンデータの推進	10
基本施策3-2 チャレンジの場をつくる	11
個別施策① 最新のテクノロジーに触れる場をつくる	11
個別施策② 成果発表の場をつくる	11
個別施策③ オープンイノベーションを通じた新規事業の創出支援	12
個別施策④ スタートアップ支援	12
基本方針4 変化に対応できる人材の育成	13
基本施策4-1 GIGAスクール構想の推進	13
個別施策① 子どもたち一人ひとりに応じた個別最適な学習の実現	13
個別施策② GIGAスクール構想の環境整備	13
個別施策③ ICTを活用した校外学習の充実	14
基本施策4-2 デジタル社会を担う若者の育成	15
個別施策① 実践的な学びの場の創出	15
個別施策② 最新のテクノロジーに触れる場をつくる（再掲）	15
個別施策③ 成果発表の場をつくる（再掲）	16

基本方針 3 活躍の機会を創出（再掲）	17
基本施策 3-2 チャレンジの場をつくる（再掲）	17
個別施策① オープンイノベーションを通じた新規事業の創出支援（再掲）	17
基本方針 5 まちの魅力向上	18
基本施策 5-1 XRコンテンツの創造	18
個別施策① XRの活用による平和学習コンテンツの創出	18
個別施策② XRの活用によるまちの記録と新たな観光資源の創造	18
基本施策 5-2 交流人口・関係人口の創出	19
個別施策① 観光地域づくりの推進	19
個別施策② デジタル技術を活用した受入環境の整備	19
個別施策③ 働く場所を選ばない人材の移住促進	20
基本方針 6 スマート市役所への変革	21
基本施策 6-1 スマートフォンの中に市役所をつくる	21
個別施策① 行政手続のオンライン化推進	21
個別施策② マイナンバーカードの普及促進	21
個別施策③ 地理情報システム（GIS）を活用した行政情報の提供	22
基本施策 6-2 業務の見直しと働き方を変革する	22
個別施策① 情報システムの標準化・共通化	22
個別施策② 窓口業務の変革	23
個別施策③ AI・RPAなどの利用促進	23
個別施策④ ペーパーレスの推進	23
個別施策⑤ 行政のオープンイノベーションの推進	24
個別施策⑥ 契約事務のデジタル化（電子契約システム）	24
個別施策⑦ ドローンの活用推進	24
個別施策⑧ テレワークの推進	25
個別施策⑨ 職員のICTリテラシー向上	25
基本施策 6-3 情報セキュリティの確保及びパーソナルデータの適正な取扱い ..	26
個別施策① 情報セキュリティの確保	26
個別施策② パーソナルデータの適正な取扱い	26
個別施策③ 職員のICTリテラシー向上（再掲）	26

1. 施策体系

2030年の目指す姿を実現するための、基本方針、基本施策を「暮らし」「交流」「行政」の3つの領域に分類し、デジタル化を推進するうえで、そのプロセスの中心にいる「住む人」「働く人」「訪れる人」の3つの「人」を中心に配置した体系図である。個別施策(P5~)には、「住む人」「働く人」「訪れる人」のうち、どの対象に関連する施策なのかについても表示している。

(施策体系図)



施策体系

重点取組み

個別施策

「情報格差のない暮らし」の実現

産業のスマート化

活躍の機会を創出

変化に対応できる人材の育成

まちの魅力向上

スマート市役所への変革

2. 重点取組み（令和4年度～令和6年度）

本計画に沿って、「暮らし」「交流」「行政」の3つの領域のデジタル化に取り組み、様々な施策を推進していく。

計画のスタートとなる令和4（2022）年度から令和6（2024）年度までの最初の3年間は、3つの領域において、次のことに重点的に取り組む。

<暮らし×デジタル>

子育て世帯をサポート

子育て世帯では、スマートフォンなどデジタル機器が日々の生活の中に溶け込んでおり、コロナ禍でこれまで以上に大きくなっている子育て世帯の負担を、デジタル化を推進することで速やかに軽減することで、仕事・家事・育児に奮闘する子育て世帯をサポートする。また、次代のデジタル社会を担う子どもたちの育成については、長期的に取り組んでいく必要があることから、まずは、その基礎となる学習環境の整備に取り組む。



<交流×デジタル>

魅力の発信と人の流れの創出

長崎の強みである「交流」の歴史を生かし、デジタル技術で地域資源に磨きをかけ、まちの魅力の効果的な発信と、新たなサービスで人を呼びこむとともに、コロナ禍で強まる地方回帰へ対応し、デジタル化による新たな地域間競争や協創にも対応していくため、受入れ環境の強化を図る。



<行政×デジタル>

スマート市役所の基盤づくり

デジタル社会へ対応し、都市のデジタル化を牽引するうえでも、まず市役所が自らデジタル化を進め、今よりもっと簡単に、わかりやすく、利用しやすい行政サービスを提供する「スマート市役所」へ変革するため、その基盤となる仕組みを構築する。



2. 重点取組み

<重点取組みで変わる令和6（2024）年の姿>

令和4年度から令和6年度にかけて、長崎市では、こんな変化を目指す。

施策体系
重点取組み
個別施策
子育て支援
観光振興
人材育成
スマート化推進
ICT活用

暮らし 子育て世帯をサポート

DXパッケージ2022	2023	2024
<ul style="list-style-type: none"> 子育てアプリの導入を検討 ひとり一台パソコンの安全な持ち帰り GIGAスクール運営支援センターの設置 民間保育所等のICT化を支援 		

(before)

私たちの思い

- 子育て世帯の負担や不安を減らし、パパママのゆとり時間を増やしたい
- 学校に通えない状況になっても、一人ひとりに寄り添い、安心して学習してほしい

【子育てアプリ】
子育て関係のサービスがスマホで利用でき、便利で簡単に。

スマホで便利！
すっかり忘れがなくなった。

【イベント情報を集約】
様々な体験ができるイベント情報へ簡単にアクセス。

手ほりって初めて！
楽しみたね。

【オンライン学習の充実】
ひとり一台配布されたパソコンを活用して、コロナ禍でも、オンラインで安心して家庭学習が可能。一人ひとりに寄り添った学習を提供。

家でも安心して勉強できる

(after)

交流 魅力の発信と人の流れの創出

DXパッケージ2022	2023	2024
<ul style="list-style-type: none"> 観光案内所開設 AIチャットボット導入 情報収集・発信強化 県外企業のサテライトオフィス進出促進 ワーケーション・テレワーク促進 		

(before)

私たちの思い

- 訪れる前のワクワクを超える旅先での体験やおもてなしを届けたい
- 長崎の魅力を知って、実感してもらって、長崎のファンを増やしたい

【スマート観光案内所】
新たに開設する観光案内所では、多言語対応アプリを導入したタブレットで、スムーズな案内が可能。手話通訳ともオンラインでつないで、障害がある方へも最適な観光情報を提供。

オンラインで手話にも対応してもらえた

【情報発信】
AIチャットボットでの観光案内で、サクサク情報検索。旅先でもひとり一人の興味に合わせて、ピンポイントで使える情報を取得。

いろんな情報もらって、ここでしかできない体験ができた！

【サテライトオフィス・ワーケーション支援】
サテライトオフィスで県外の企業と地場企業の異業種交流が盛んに。また、ワーケーションで長崎の魅力を体感し、移住を決意。

暮らすように過ごしてみても、移住を決意できた！

(after)

行政 スマート市役所の基盤づくり

	DXパッケージ2022	2023	2024
	<ul style="list-style-type: none"> 行政手続きオンライン化 総合窓口システム構築・運用 GISで都市計画図など公開 オンライン相談拡充 契約事務のデジタル化検討 		

私たちの思い

- 行政手続きって何かと時間がかかって面倒くさい、その不満、デジタルで解決！
- 暮らしに、仕事に必要な様々な行政情報を、必要な人に必要な時に届けたい

【行政手続きのオンライン化】
書かない、待たない、行かない。いつでも、どこからでも行政手続きができるように。仕事や用事で平日に時間がない方でもストレスフリーに手続きが可能。

夜中でも手続きできて助かる～

【総合窓口システム】
複数の手続きができ、何度も同じ内容を書かずに済むように。その他の手続きが必要な場合も迷わない。

同じことを何度も書かずに済んで楽々

【公開型GIS】
都市計画決定情報など、様々な行政情報が窓口に来なくても閲覧可能に。忙しい事業者のみなさんにやさしいサービスを。

スマホから道路台帳情報も閲覧できた

(before) → (after)

施策体系
重点取組み
個別施策

「情報格差のない暮らし」の実現
「暮らしと仕事」の両立
「生涯の健康」を創出
「変化」に対応できる人材の育成
「まちの転機」向上
スマート市役所への変革

3. 個別施策

基本施策ごとに、具体的な取組みである個別施策を次のとおり定める。

基本方針1 情報格差のない暮らしの実現



基本施策1-1 デジタル活用を支援する

インターネット等のデジタル技術を利用できる人とそうでない人との間に情報格差が生じないように、様々な主体と連携して支援を行う。また、デジタル化に関する施策を実施する際は、身体的、社会的、その他の様々な理由で利用できない人への対応もあわせて行う。

3年後には、公共施設や地域におけるコミュニティなど身近な場所で、デジタル技術を利用できない人をサポートする仕組みが構築されている状態を目指す。

個別施策①

施策名	使いたい・使えない人をサポート		
施策概要	公民館や携帯ショップなどで、市と関係機関が連携して、スマホやパソコンの基本的な利用、行政手続きの利用方法などを学べる講座を実施し、デジタル活用に不安はあるが使いたい高齢者等を支援する。 また、公共施設や地域におけるコミュニティにおいて、様々な理由でデジタル技術を使えない人のサービス利用をサポートする仕組みを検討・構築する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	継続	継続	継続

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（教育委員会、情報政策推進室ほか）、関係団体、住民

基本施策1-2 人と人をつなぐ仕組みをつくる

デジタルが人と人のつながりを強め、地域における情報共有や、困りごとの解決につながる「助け合い、支え合い」の仕組みをつくる。

3年後には、複数の地域において、デジタル技術を活用したコミュニティ内のつながりを強める仕組みが動き始めている状態を目指す。

個別施策①

施策名	地域の困りごとをデジタル技術で解決		
施策概要	地域の困りごとを把握し、デジタル技術を活用して助け合い、支え合うことで解決する仕組みや、地域内での情報共有、コミュニティ内のつながりを深める仕組みの構築を目指す。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	課題把握	導入	拡充

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（情報政策推進室、企画財政部、市民生活部ほか）、民間事業者、関係団体、住民

個別施策②

施策名	デジタル技術で社会参加をサポート		
施策概要	病気や障害など様々な理由で外出が困難な人に対し、デジタル技術の活用をサポートすることで、他者との交流や社会参加、及び就労支援を促していく。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	導入	運用	運用

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（福祉部ほか）、民間事業者、関係団体、住民

基本方針2 暮らしを支える基盤の最適化

基本施策2-1 産業のスマート化を推進

暮らしを支える様々な産業分野において、AI やロボット、IoT 等のデジタル技術を活用した品質や生産性の向上による事業者の収益向上、働き方の変革を目指す取組みを支援する。

3年後には、複数の産業分野においてデジタル技術導入による生産性等の向上が実証され、導入が進んでいる状態を目指す。

個別施策①

施策名	地場企業の DX 推進・生産性の向上		
施策概要	先端技術を活用した業務効率化や生産性の向上、働き方改革などを推進し、地場企業の活性化を図るとともに、働く人のワークライフバランスの実現にもつなげていく。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	試行	試行	試行

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（商工部、こども部ほか）、民間事業者、関係団体

個別施策②

施策名	スマート農業・スマート水産業の推進		
施策概要	AI や ICT 等の先端技術を活用し、省力化や生産性向上に向け、スマート農業の検証を行い、導入に向けた取組みを進めていく。 また、効率的・先進的な水産業への転換を図るため、市内関係団体等が行う ICT 技術導入に対して支援を行う。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	検証	導入	拡充

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（水産農林部）、民間事業者、関係団体

個別施策③

施策名	ICT 等を活用した有害鳥獣対策		
施策概要	ICT 等を活用した有害鳥獣の追払い・動向の調査を行い、対策としての有効性を検証し、効率化を図る。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	調査・検証	活用検討	導入

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（水産農林部）、民間事業者、関係団体

基本施策 2-2 デジタル技術で健やかな暮らしをサポート

ICT 技術などの活用により、遠隔診療や健康管理などを支援し、どこにいても安心して暮らせる環境を実現する。

3 年後には、デジタル技術を活用した複数のサービスが提供され、心身とも健康だと感じている市民が増えている状態を目指す。

個別施策①

施策名	福祉ネットワークの構築		
施策概要	介護分野における行政と関係機関との連携を深めるため、情報ネットワークの構築を行い、その後情報共有が可能な新たなシステムの構築を行い、その後を目指す。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	手法・体制等の検討	導入	運用

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（福祉部、総合事務所）

3. 個別施策

個別施策②

施策名	離島における遠隔診療		
施策概要	人口減少、高齢化が進む離島において、市民が安心して暮らせるよう医療提供体制の確保を図ることを目的に、遠隔診療を試行的に実施し、本格導入に向けた検討を進める。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	試行	試行等の検証・運用	運用

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（市民健康部）、関係団体

個別施策③

施策名	母子保健サービスのデジタル化		
施策概要	子育て家庭に対し、民間が提供している子育てアプリを活用して情報発信や各種サービスをスマートフォンで提供する。 また、各種手続きのオンライン化や、母子保健事業に係るサービスのデジタル化についても検討し、保護者の負担を軽減するとともに、行政・医療機関の業務効率化を実現する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	検討		

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（こども部、総合事務所）、民間事業者、関係団体、住民

基本方針3 活躍の機会を創出

基本施策3-1 データ利活用の促進

スマートシティ実現のためには、様々なデータが流通し活用される必要があることから、官民の相互連携を前提としたデータ整備を行うとともに、データ利活用の促進を通じた地域経済の活性化や地域課題の解決を図っていく。

3年後には、民間と行政で持続可能なデータ連携基盤の運営体制が確立され、新たなサービスの創出につながっている状態を目指す。

個別施策①

施策名	都市 OS（データ連携基盤等）の活用		
施策概要	官民の様々な分野のデータを連携させる都市 OS（データ連携基盤等）の活用策を、包括連携協定等による様々な主体とともに検討し、新たなサービスの創出を促進する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	活用策の検討	検討・試行	検討・試行

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（情報政策推進室）、長崎県、民間事業者、関係団体、大学

個別施策②

施策名	オープンデータの推進		
施策概要	市政の透明性・信頼性の向上、市民協働の推進、経済の活性化、市民の利便性向上につなげるため、機械判読に適したデータ形式で、誰もが二次利用することが可能なルールで、行政の持つ様々なデータを公開する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	拡充	拡充	拡充

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（情報政策推進室、秘書広報部、総務部ほか）

3. 個別施策

基本施策3-2 チャレンジの場をつくる

デジタル技術への興味を深めたい子どもたちが、多様な最新のテクノロジーに触れ、日常生活ではできない体験をしたり、思い描いていることを実現できる場をつくる。また、若者が新たな価値やサービスの創出に向け、チャレンジできる環境をつくる。

3年後には、子どもたちがいつでも安全に、無料で最新のテクノロジーに触れられる場が提供されている。また、若者が最新のテクノロジーを活かしてチャレンジできる場として、県外からのIT企業の誘致が増加するとともに、若者によるスタートアップも増加している状態を目指す。

個別施策①

施策名	最新のテクノロジーに触れる場をつくる		
施策概要	デジタル技術へ興味を持つ子どもたちの受け皿として、いつでも、安全に、無料で最新のテクノロジーに触れられる場を提供するコミュニティの創出を支援する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	運営主体・運営方法等の検討	創設準備の支援	創設・運営の支援

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（情報政策推進室）、民間事業者、大学

個別施策②

施策名	成果発表の場をつくる		
施策概要	GIGAスクールで学んだプログラミング技術や興味を持って学んだデジタル技術をもとに、市内IT企業等とも連携してその成果を競ったり発表する場をつくることで、参加者同士の交流や新たな気づきを生み、モチベーションや能力の向上を図る。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	拡充	拡充	拡充

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（教育委員会）、民間事業者、関係団体

個別施策③

施策名	オープンイノベーションを通じた新規事業の創出支援		
施策概要	地域課題解決を切り口に、既存企業が有するさまざまな知見やノウハウの組み合わせによるビジネス創出を図るため、オープンイノベーションを推進する。また、イノベーション創出に向けたプレイヤーの増加及び地場企業とのマッチング機会創出を目指し、IT 分野を含む県外企業と地場企業のコミュニティ創出につながるサテライトオフィスの運営や、県外企業のサテライトオフィス進出を支援する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	実施	運用	運用

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（商工部）、民間事業者、関係団体

個別施策④

施策名	スタートアップ支援		
施策概要	起業を促し、新たなビジネスモデルを活用することで、新規事業創出を図るため、スタートアップ支援に取り組み、既存コミュニティのネットワークを活かした起業を促す土壌づくりを行う。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	実施	運用	運用

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（商工部）、民間事業者、関係団体、大学

施策体系

重点取り組み

個別施策

情報格差のない暮らしの実現

暮らしを支える基盤の最適化

活躍の機会を創出

変化に対応できる人材の育成

まちの魅力向上

スマート市役所への移行

3. 個別施策

基本方針4 変化に対応できる人材の育成

基本施策4-1 GIGAスクール構想の推進

家庭でも安全に端末を利用できる環境を実現し、「一人ひとりに合わせた学び」や、自他の考えを広げ、深めて、新たな考えを生み出す「創造性を育む学び」を実現する。

3年後には、児童・生徒が課題を解決する中で、自分自身の生き方について考える力を身につけている。家庭でも安全に端末を利用できる環境が実現しており、個別学習や協働学習のための授業内容が構築されている状態を目指す。

個別施策①

施策名	子どもたち一人ひとりに応じた個別最適な学習の実現		
施策概要	一人一台の学習者用パソコンを持ち帰って家庭学習にも活用できるよう、家庭のインターネット回線であっても、安全・安心なネット環境を提供する。また、AI型ドリルなど、子どもたち一人ひとりに応じた個別最適な学習を実現する新たな技術の活用を検討する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	試行	試行結果の検証	

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（教育委員会）

個別施策②

施策名	GIGA スクール構想の環境整備		
施策概要	教員の ICT 活用指導力の向上及び指導体制の充実を図るため体制構築や環境を整備する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	拡大	運用	運用

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（教育委員会）

個別施策③

施策名	ICTを活用した校外学習の充実		
施策概要	校外学習において、校内と同じように学習者用パソコンでICTを活用した学習ができるよう、校外学習の対象になっている施設のWi-Fi環境の整備を推進していく。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	導入	拡充	拡充

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（教育委員会）、関係団体

施策体系

重点取り組み

個別施策

情報活用環境の整備

教育施設の情報化

教育活動の充実

人材育成の推進

市民の能力向上

スマート市役所への移行

3. 個別施策

基本施策4-2 デジタル社会を担う若者の育成

急速に変化するデジタル社会に対応し、未来のまちをつくるデジタル人材の育成を支援する。

3年後には、即戦力のデジタル人材として活躍できる実践的なカリキュラムを産学官が連携して実施している状態を目指す。

個別施策①

施策名	実践的な学びの場の創出		
施策概要	経済産業省が構築を目指すデジタル人材育成プラットフォームを産学官金で協働して長崎市で実現し、デジタル人材育成のための様々なプログラムを実施する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	検討		

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（情報政策推進室）、民間事業者、関係団体、大学

個別施策②

施策名	最新のテクノロジーに触れる場をつくる（再掲）		
施策概要	デジタル技術へ興味を持つ子どもたちの受け皿として、いつでも、安全に、無料で最新のテクノロジーに触れられる場を提供するコミュニティの創出を支援する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	運営主体・運営方法等の検討	創設準備の支援	創設・運営の支援

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（情報政策推進室）、民間事業者、大学

個別施策③

施策名	成果発表の場をつくる（再掲）		
施策概要	GIGAスクールで学んだプログラミング技術や興味を持って学んだデジタル技術をもとに、市内IT企業等とも連携してその成果を競ったり発表する場をつくることで、参加者同士の交流や新たな気づきを生み、モチベーションや能力の向上を図る。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	拡充	拡充	拡充

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（教育委員会）、民間事業者、関係団体

施策体系

重点取組み

個別施策

市民生活の向上

市民生活の向上

市民生活の向上

市民生活の向上

市民生活の向上

市民生活の向上

3. 個別施策

基本方針3 活躍の機会を創出（再掲）



基本施策3-2 チャレンジの場をつくる（再掲）

個別施策①

施策名	オープンイノベーションを通じた新規事業の創出支援（再掲）		
施策概要	地域課題解決を切り口に、既存企業が有するさまざまな知見やノウハウの組み合わせによるビジネス創出を図るため、オープンイノベーションを推進する。また、イノベーション創出に向けたプレイヤーの増加及び地場企業とのマッチング機会創出を目指し、IT 分野を含む県外企業と地場企業のコミュニティ創出につながるサテライトオフィスの運営や、県外企業のサテライトオフィス進出を支援する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	実施	運用	運用

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（商工部）、民間事業者、関係団体

施策体系

重点取り組み

個別施策

情報格差のない
暮らしの実現

暮らしを支える
基盤の高度化

活躍の機会
を創出

変化に対応できる
人材の育成

まちの転機向上

スマート市役所へ
の改革

基本方針5 まちの魅力向上

基本施策5-1 XRコンテンツの創造

リアル（現実空間）の良さをバーチャル（仮想空間）の利点と融合させることで、新たなXRコンテンツを創造し、これまでにない体験や楽しさを提供し、まちの魅力を向上させる。

3年後には、地域資源が磨かれ、魅力あるコンテンツとして活用されている状態を目指す。

個別施策①

施策名	XRの活用による平和学習コンテンツの創出		
施策概要	市内に点在する被爆遺構をXRを活用して被爆当時の姿と重ねたり、破壊された様子をCG映像で確認できるなど、様々な情報を付加することで被爆の実相と平和の大切さを伝えるコンテンツを創出する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	検討・構築	拡充	拡充

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（原爆被爆対策部）、関係団体

個別施策②

施策名	XRの活用によるまちの記録と新たな観光資源の創造		
施策概要	まちの魅力である四季折々のイベントや100年に一度の変化を迎えるまちの風景をデジタル技術を活用して記録するとともに、XRを活用した新たな観光コンテンツとしての活用を検討する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	検討・記録	記録・検証	記録・構築

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（情報政策推進室、文化観光部）、関係団体、大学

施策体系

重点取り組み

個別施策

「語り継ぐ」のまちづくり

まちづくりの推進

まちづくりの推進

変化に対応する人材の育成

まちの魅力向上

スマートシティの発展

3. 個別施策

基本施策5-2 交流人口・関係人口の創出

地域観光の課題、地域事業者や訪問客ニーズをマーケティングの力で把握・分析し、新たな観光需要を創出し、交流人口を創出していく。また、効果的な情報発信により、まちの魅力を伝えることで、将来的に移住にもつながる関係人口の創出・拡大にも取り組む。

3年後には、ターゲットとした来訪者が増加している。また、住む人と訪れる人との交流が広がり、SNSでまちの魅力を発信する件数が増加している状態を目指す。

個別施策①

施策名	観光地域づくりの推進		
施策概要	DMOを中心に、SNSやAIチャットボットなどICTを活用し、ワンストップで情報収集・発信ができる仕組みについて検討を進め、AI機能の搭載やユーザーデータを分析・活用することで、デジタルマーケティングを強化する。それにより、戦略的かつ効果的な誘致・プロモーション展開と、旅マエ・旅ナカ・旅アトにおけるタイムリーな情報発信が可能となり、更なる誘客のための発信強化と、訪問客の満足度向上、消費拡大を図る。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	システム構築	拡充	拡充

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（文化観光部）、関係団体

個別施策②

施策名	デジタル技術を活用した受入環境の整備		
施策概要	新たに設置する観光案内所を中心に、有益な情報をデジタル技術を活用してタイムリーに、多様な人々に対応しながら届けるとともに、様々な移動手段や宿泊施設、観光施設をストレスフリーに利用できる環境を整備する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	構築	拡充	拡充

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（文化観光部）、民間事業者、関係団体

個別施策③

施策名	働く場所を選ばない人材の移住促進		
施策概要	テレワークの普及などにより、働く場所を選ばない者の増加が期待されるため、そのような者に対して戦略的かつ効果的な情報発信を行い、多様な働き方の1つであるワーケーションを推進することで将来的な移住者の増加につなげる。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	拡充	拡充	拡充

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（情報政策推進室、企画財政部）、民間事業者

施策体系

重点取組み

個別施策

情報格差のない
暮らしの実現暮らしを元にする
基盤の高度化活躍の機会
を創出変化に対応できる
人材の育成まちの魅力を
向上スマート市役所へ
の変革

3. 個別施策

基本方針6 スマート市役所への変革



基本施策6-1 スマートフォンの中に市役所をつくる

市役所に市民等が足を運ばなくても市のサービスを楽しむ仕組みを構築し、様々な行政サービスをスマートフォン、パソコン、タブレットなどで利用できるようにする。

3年後には、申請件数が多く、市民や事業者の利便性向上の効果が高い手続きがオンライン化され、また、相談等もオンラインで利用できるようになり、市民等の手続きに要する手間や時間が削減されている状態を目指す。

個別施策①

施策名	行政手続のオンライン化推進		
施策概要	利用者の利便性向上と行政運営の簡素化・効率化のため、わかりやすく使いやすいシステムを導入し、利便性向上など効果が高い手続から順次オンライン化を推進する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	システム導入・拡充	拡充	拡充

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（情報政策推進室、総務部、各関係部局）

個別施策②

施策名	マイナンバーカードの普及促進		
施策概要	オンラインで確実に本人確認を行うことができ、今後のデジタル社会の基盤となるマイナンバーカードの普及促進に向け、出張申請受付による交付や行政手続オンライン化での利用拡大、活用PRなどを実施する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	実施	実施	実施

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（情報政策推進室、市民生活部）

個別施策③

施策名	地理情報システム（GIS）を活用した行政情報の提供		
施策概要	窓口での閲覧、電話問合せで公開していた情報（都市計画情報、市道道路台帳図等）を、地理情報システムを活用して、インターネット上で検索し閲覧できるシステムを導入し、市民サービスの向上を図る。また、その他の行政情報も地図として順次公開していく。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	システム構築・公開	拡充	拡充

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（まちづくり部、土木部、建築部、理財部、上下水道局）

基本施策6-2 業務の見直しと働き方を変革する

デジタル技術を活用して業務プロセス自体に変革を起こし、情報システムの標準化・共通化や業務の自動化・ペーパーレス化など社会のデジタル化に対応することで、市民の利便性向上や業務の効率化を図る。また、職員のICTリテラシー向上のための研修や取組みを戦略的に展開する。

3年後には、新庁舎開庁を契機とした新たな働き方が定着しており、多くの職員がデジタル技術を活用して業務を効率化していくという意識を持ち、スマート市役所の実現へ向け、業務システムの標準化・共通化が順調に進んでいる状態を目指す。

個別施策①

施策名	情報システムの標準化・共通化		
施策概要	システム調達に係る競争性の確保及び維持管理や制度改正時の改修等における負担軽減を実現するため、令和7年度までに国の標準仕様に準拠したシステムへ移行する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	検討・計画策定	構築	構築（一部稼働）

主体：長崎市（情報政策推進室、総務部、各関係部局）

施策体系

重点取組み

個別施策

情報基盤の高度化
業務の見直しの実現業務の効率化
業務の最適化業務の効率化
業務の見直し業務の効率化
人材の育成業務の効率化
業務の見直しスマート市役所へ
の移行

3. 個別施策

個別施策②

施策名	窓口業務の変革		
施策概要	<p>総合窓口システムを導入することにより、市民が「書かない」「迷わない」を実現し、市民サービスの向上と職員の入力作業を削減し業務効率化を図る。</p> <p>また、来庁が困難な場合であっても、自宅や身近な場所からオンラインで相談できるようにすることで、市民サービスの向上を図る。</p>		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	システム構築・運用	運用	運用・拡充検討

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（総務部、窓口や相談業務を持つ部局ほか）

個別施策③

施策名	AI・RPAなどの利用促進		
施策概要	<p>AIやRPAなど、先端技術を活用し、市民サービスの向上と職員の単純入力作業等を削減し、効率化を図る。</p>		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	拡充	拡充	拡充

主体：長崎市（総務部、各関係部局）

個別施策④

施策名	ペーパーレスの推進		
施策概要	<p>業務の効率化とともに、コスト削減、働き方の変革につながるペーパーレスを推進し、状況に応じて臨機応変に対応できるフリーアドレスな職場環境を実現する。</p>		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	拡充	拡充	拡充

主体：長崎市（総務部、各関係部局）

個別施策⑤

施策名	行政のオープンイノベーションの推進		
施策概要	多様化する行政ニーズに対応していくためには、従来の手法にとどまらない官民共創の取組みが求められることから、行政のオープンイノベーションを推進し、課題解決を図る。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	課題整理・実施	運用	運用

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（商工部）、民間事業者、関係団体

個別施策⑥

施策名	契約事務のデジタル化（電子契約システム）		
施策概要	電子入札システムで落札者決定後、契約締結までの一連の業務をシステム化することで、事業者と職員の業務効率化を図る。 施工管理に係る業務等についてもシステム化を検討する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	実証実験・導入検討	拡充	拡充

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（理財部）、民間事業者

個別施策⑦

施策名	ドローンの活用推進		
施策概要	今後発展が期待されるドローンについて、災害現場や橋梁などのインフラ点検など、市役所が行う業務で自ら率先して利用し、操作できる職員の養成を進めるとともに、様々な地域課題への活用にもつなげていく。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	運用	運用	運用

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（消防局、防災危機管理室ほか）、関係団体

施策体系

重点取組み

個別施策

「デジタル化」の推進

デジタル化の推進

デジタル化の推進

デジタル化の推進

デジタル化の推進

スマート市役所への変革

3. 個別施策

個別施策⑧

施策名	テレワークの推進		
施策概要	在宅勤務、モバイルワークやサテライトオフィス勤務に必要な機器や環境等を充実させ、デジタル社会に対応した多様な働き方を推進する。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	拡充	拡充	拡充

主体：長崎市（総務部）

個別施策⑨

施策名	職員の ICT リテラシー向上		
施策概要	様々なデジタル技術や多様な情報を活用し、業務の効率化、市民サービスの向上を図るために、職員研修等を通じて、職員の ICT に対する理解やセキュリティに対する意識、業務改善等の手法や知識の向上を図る。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	拡充	拡充	拡充

主体：長崎市（情報政策推進室、総務部）

施策体系

重点取り組み

個別施策

高齢者に対する
デジタルデバイドの解消

働き方改革の推進

デジタル人材の育成

デジタル人材の育成

デジタル人材の育成

スマートシティの推進

基本施策6-3 情報セキュリティの確保及びパーソナルデータの適正な取扱い

デジタル化の推進により増加する情報やその情報を管理するシステムについて、法令等に則り適正に管理するとともに、個人情報保護法の改正など、ルールの見直しに適宜対応し、安全安心なサービスを提供していく。

3年後には、情報セキュリティポリシー等に基づいた適切な情報セキュリティ対策を講じており、その保有するパーソナルデータが適正に取扱われている状態を目指す。

個別施策①

施策名	情報セキュリティの確保		
施策概要	情報セキュリティ対策の指針となる情報セキュリティポリシーや各種手順書等を適宜見直すとともに、職員等へその周知徹底を図っていく。また、これらのルールを遵守したシステムの構築と運用を行い、安全安心なサービスを提供していく。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し

主体：長崎市（総務部、各関係部局）

個別施策②

施策名	パーソナルデータの適正な取扱い		
施策概要	改正された個人情報保護法へ適切に対応するとともに、パーソナルデータを適正に取り扱うためのルールやセキュリティ対策について、民間事業者や大学などの関係団体とも連携して定める。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	検討	検証	制定・運用

対象となる人： 住む人 働く人 訪れる人

主体：長崎市（情報政策推進室、総務部）、民間事業者、関係団体、大学

個別施策③

施策名	職員の ICT リテラシー向上（再掲）		
施策概要	様々なデジタル技術や多様な情報を活用し、業務の効率化、市民サービスの向上を図るために、職員研修等を通じて職員の ICT に対する理解やセキュリティに対する意識、業務改善等の手法や知識の向上を図る。		
スケジュール	R 4	R 5	R 6
	拡充	拡充	拡充

主体：長崎市（情報政策推進室、総務部）

長崎市 情報政策推進室

〒850-0032

長崎市興善町2-21 明治安田生命長崎興善町ビル6F

TEL:095-829-1414

E-mail:joho_seisaku@city.nagasaki.lg.jp